

サンキテクノスのポータブルファン

型式

PF-201Y・PF-201-2Y・PF-281Y・PF-281-2Y

PF-283Y・PF-201Y-S・PF-281Y-S

PF-401Y・PF-403・PF-403-4

PF-501Y・PF-503・PF-503-4・PF-603・PF603-4

取扱説明書

保存用

この度はサンキテクノスのポータブルファンをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ポータブルファンをご使用になる前に、この取扱説明書を全て良くお読み
のうえ、その指示に従って正しくお使い下さい。

また、この説明書は、常に本機のそばに保管し、ご使用になる人がいつで
も読めるようにしておいて下さい。

目次	ページ
I 対象機種、仕様と各部の名称	1
II 安全上のご注意	2
「危険！」	
「警告！」	
III 使用方法	4
IV 点検・保守	6
V ポータブルファンの診断と早期手当法	7

SANKI TECHNOS 快適な作業環境を創造する
STECO **サンキテクノス株式会社**

横浜工場 / 〒223-0057 横浜市港北区新羽町3758-1
東京営業所 / 〒141-0032 東京都品川区大崎4-13-18 TEL 03-3491-5591(代) FAX 03-3490-1483

●お問い合わせは.....

TEL.  0120-5591-47 FAX.  0120-5591-59

I 対象機種、仕様と各部の名称

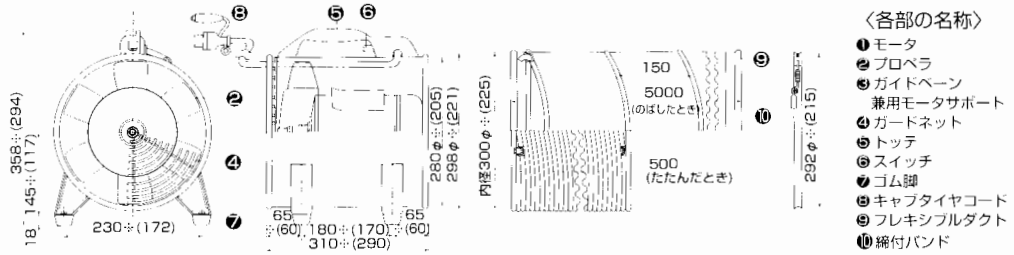
1. 対象機種

次の表の機種が説明してあります。

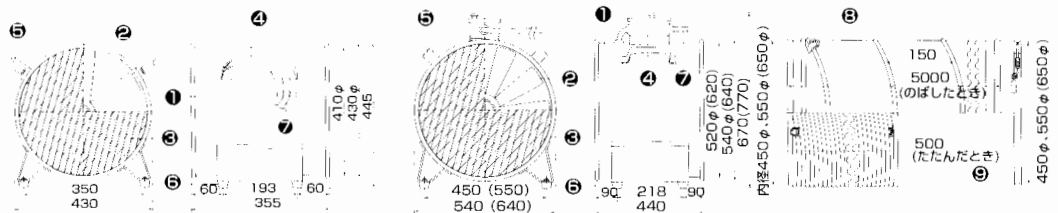
品名	型式	電	源	品名	型式	電	源
軽量型	PF-201Y	単相	100V	大型	PF-401Y	二相	100V
	PF-201-2Y		200V		PF-403		200V
標準型	PF-281Y	単相	100V	PF-403-4	二相	400V	
	PF-281-2Y		200V	PF-501Y		100V	
	PF-283Y		200V	PF-503		200V	
防食型	PF-201Y-S	単相	100V	PF-503-4	二相	400V	
	PF-281Y-S		100V	PF-603		200V	
			50/60Hz				50/60Hz

2. 仕様と各部の名称

1)標準型・軽量型・防食型 ※()内の外形寸法はPF-201Y、PF-201-2Y、PF-201Y-S



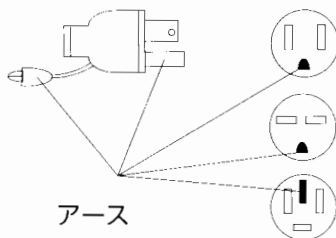
2)大型 PF-401Y/PF-403/PF-403-4 PF-501Y/PF-503/PF-503-4 ※()内はPF-603、PF-603-4



名称	型式	プロペラ	性能	モータ (50/60Hz共用)	絶縁	本体	フレキシブルダクト(別売)
		径 葉数	風量 (最大)	静圧 (最大)	相数 電圧 出力 機数 定格	種類 重量	型式 寸法
標準型	PF-281Y						
	PF-281-2Y	280φ 6	60/70m ³ /min	481/628Pa	单相 100V	連続 E 柱 14kg	FD-300 300φ×5m×150P
	PF-283Y				二相 200V		
軽量型	PF-201Y	200φ 7	25/29m ³ /min	245/294Pa	单相 100V	連続 E 柱 8kg	FD-225 225φ×5m×150P
	PF-201-2Y				二相 200V		
防食型	PF-201Y-S	200φ 7	25/29m ³ /min	245/294Pa	单相 100V	連続 E 柱 8kg	FD-225 225φ×5m×150P
	PF-281Y-S	280φ 6	60/70m ³ /min	481/628Pa	单相 100V	連続 E 柱 14kg	FD-300 300φ×5m×150P
大型	PF-401Y	400φ 6	85/100m ³ /min	196/275Pa	单相 100V		
	PF-403				二相 200V		
	PF-403-4				二相 400V		
	PF-501Y	500φ 5	165/195m ³ /min	226/314Pa	单相 100V	連続 B 柱 45kg	FD-550 550φ×5m×150P
	PF-503				二相 200V		
	PF-503-4				二相 400V		
	PF-603	600φ 10	280/320m ³ /min	392/569Pa	单相 200V		
	PF-603-4				二相 400V		

⑧キャプタイヤコードφ25mmJ

プラグの種類と対象機種



PF-201Y、PF-281Y、PF-201Y-S、PF-281Y-S
PF-401Y、PF-501Y用

PF-201-2Y、PF-281-2Y用

PF-283Y、PF-403、PF-503、PF-603用

Ⅱ 安全上のご注意

感電、爆発、火災、酸欠、ガス中毒などの事故を未然に防ぐため、ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ、その指示に従って、正しくご使用下さい。

注意事項は「危険！」と「警告！」に区分しました。誤った取扱方法によって、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を「危険！」、使用者が障害を負う可能性が想定される内容および火災など物的損害の発生する可能性が想定される内容を「警告！」として記載してあります。

「危険！」



❶ 電源に漏電ブレーカーとサーキットブレーカーを必ず設備し、プラグのアースを電源のアースに確実に接続して下さい。設備しないと、漏電による感電や火災の原因になります。



❷ タンクの中や密閉した場所は、酸欠やガス中毒の恐れのある、法定危険場所です。法定危険場所では、法律で定められた有資格者の監督・指示の下で使用して下さい。



❸ 可燃性の液体やガスのそばに、近づけないで下さい。爆発や火災の危険があります。

「警告！」



❶ ガードネットの中に、指や物を入れないで下さい。怪我をする危険があります。



❷ 使用する場所はいつもきれいにして下さい。ちらかっていると、思わぬ物を吸い込んだり吹き飛ばしたりして、事故の原因になります。



❸ 損傷した部品がないか、使用する前に必ず点検して下さい。



❹ 腐食性ガスや、塩分を含んだ湿った空気の中では使用しないで下さい。漏電や火災の原因になります。



❺ プラグを電源コンセントに差し込む前に、ポータブルファンの手元スイッチがOFFになっていることを確認して下さい。



⑥延長コードを使用するときは、使用するコードの長さにあった太さの延長コードを使用して下さい。細く長いコードを使用すると、ポータブルファンの運転電流で電圧が低下してモータが焼損し、感電や火災など思わぬ大事故になる危険があります。



⑦同じ電源から投光機など他の電動機器をタコ足配線で使用しないで下さい。電圧が低下してモータが焼損し、感電や火災など思わぬ大事故になる危険があります。



⑧吸込風量または吐出風量が、最大風量の1/3以下にならないようにして下さい。冷却不足のためモータが焼損し、感電や火災など思わぬ大事故になる危険があります。



⑨コードとプラグは使用毎に点検し、損傷がある時はすぐ修理して下さい。



⑩ガードネット、モータ、風胴内側、プロペラは常にきれいにしておいて下さい。過度の汚れは、性能低下やモータ焼損の原因になり、感電や火災などの思わぬ大事故になる危険があります。



⑪水に浸したり、濡れた手でプラグに触らないで下さい。感電の危険があります。



⑫移動するときや使用しないとき、点検・補修をするときは、手元スイッチをOFFにし、電源コンセントからプラグを抜いて下さい。感電や火災、怪我の危険があります。



⑬本体をコードで吊って運んだり、コードを引っ張ってプラグを電源コンセントから抜いたり、角の尖ったところや熱いところに近づけないで下さい。感電や火災の危険があります。



⑭ポータブルファンはモーターの過負荷防止用として、マルチプロテクター（PF-201Y、PF201Y-Sのみサーマルプロテクター）を内蔵しております。運転中に急に停止した場合は、必ず手元スイッチをOFFにし、電源コンセントからプラグを抜いて下さい。点検時に電源が入っていると自動的に復帰し、大変危険です。（対象……型式にYのついたもの）

Ⅲ 使用方法

1. 使用前の点検

ポータブルファン本体に破損ヶ所や部品の欠落、風胴のへこみ、各部の汚れ、ボルト・ナットの緩みなどが無い点検し、不具合点を改善してください。

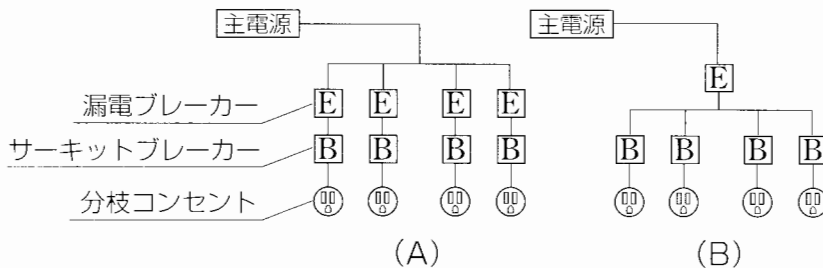
2. 設置場所の条件の確認

設置場所の周辺に注意して、不具合点を改善して下さい。

- ◎引火性の液体やガスがないこと。
- ◎腐食性のガスや塩分を含んだ雰囲気でないこと。
- ◎水溜りになっていないこと。
- ◎雰囲気温度が、 $-20^{\circ}\text{C}\sim 40^{\circ}\text{C}$ の範囲内であること。(PF-403、PF-501、PF-503、PF-503-4、PF-603、PF-603-4は $-20^{\circ}\text{C}\sim 60^{\circ}\text{C}$)
- ◎吸い込んだり、吹き飛んだりする物がないこと。
- ◎滑ったり落ちたりしない安定した場所であること。

3. 電気配線


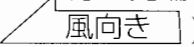
- ◎電源には、使用するポータブルファンに適合した漏電ブレーカーとサーキットブレーカを設備して下さい。
- ◎電源からポータブルファンまで、 2sq 以下のコードを 20m 以上接続したり、同じ電源から複数の電気機器を接続して使用しないで下さい。
使用する場合は、必ず電気工事士に相談しその指示に従って下さい。特に工事現場では必ず励行して下さい。

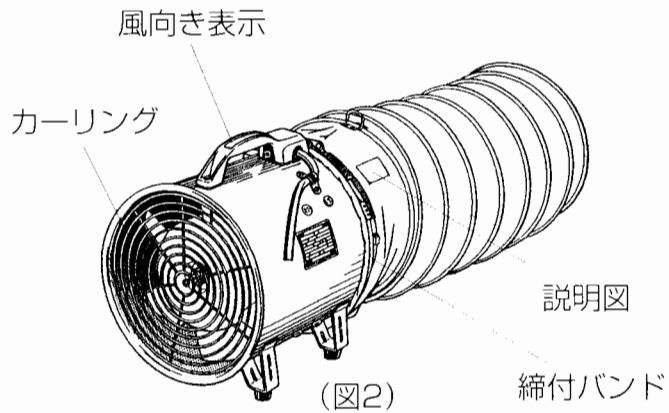
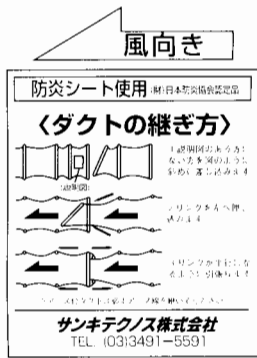


(A)は個々に管理できるので最もよい方法です。

(B)は1つのコンセントが漏電すると、漏電ブレーカーが分枝前で電気を遮断するため、他の3つのコンセントも使用できなくなります。

4. ポータブルファンのセット方法

- イ) 把手または本体風胴の風向き表示()を参考にして目的の方向に向けて設置して下さい。
- ロ) ダクトの一方の先端にある説明図中の、風向き表示を確認して下さい。
(図1 )
- ハ) ファン本体にダクトを取り付けます。ダクトはファン本体の吸込側、吐出側いずれにも同じ要領で取り付けることができます。ファン本体の”風向き表示”とダクトの”風向き表示”の方向を合わせてから、ダクトをファン本体の吸込側(プロペラ側)、または吐出側にかぶせ、付属の締付バンドでしっかりと隙間のないように、カーリングの内側で締めて下さい。(図2)



二)ダクトとダクトの接続方法

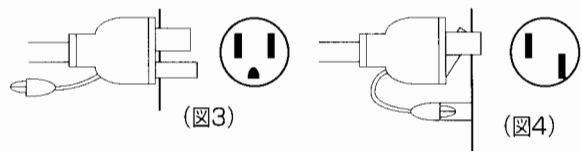
ダクトとダクトの接続は、(図1)の説明図に従って行って下さい。特別な工具やバンドを用いなくて簡単に接続ができます。

ホ)電源の漏電ブレーカーのトリップテストを行い、正常に作動することを確認して下さい。

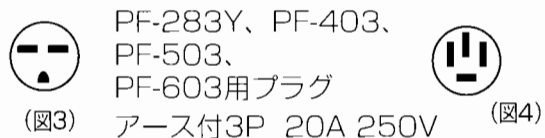
ヘ)手元スイッチがOFFになっていることを確認してから、プラグを電源コンセントに差し込んで下さい。

ト)アースは必ず接続して下さい。PF-201Y、PF-281Y、PF-201Y-S、PF-281Y-S、PF-401Y、PF-501Yなど単相100V電源の機種は、可動式アースピンがついた2Pプラグが付いています。(図3)のアース付2Pコンセントの場合は、そのまま差し込み、(図4)の2Pコンセントの場合は、アースピンを内側に折って差し込み、電源のアース端子にアースクリップで確実に接続して下さい。

PF-201、YPF-281Y、PF-201Y-S、
PF-281Y-S、PF-401Y、
PF-501Y用プラグ
アース付2P (2P兼用)
15A 125V



PF-281-2Y、PF-201-2Y
用プラグ
アース付2P 15A 250V



PF-283Y、PF-403、
PF-503、
PF-603用プラグ
アース付3P 20A 250V

5. 試運転

ポータブルファンの手元スイッチをONにします。

起動したらクランプ式電流計でコードの中間(ファン本体から1m)の電流値を計り定格電流値になっているか確認して下さい。定格電流値から外れている時はすぐにスイッチをOFFにし、原因を見つけ正常な運転ができるように改善して下さい。改善しないまま運転を継続した場合、モータが焼損し思わぬ大事故につながる可能性があります。PF-283Y、PF-403、PF-403-4、PF-503、PF-503-4、PF-603、PF-603-4など三相200V、三相400V電源機種で風向きが逆の場合(逆回転)は、プラグの結線の赤線と黒線を入れ替えて下さい。

定格電流値から外れる原因と改善方法	
原因	改善方法
イ. コードが細すぎる	短くする、太くする
ロ. コードが長すぎる	短くする、太くする
ハ. 同じ電源に多数の電気機器を接続	他の電源に移す
ニ. 電源電圧が低い	定格電圧にする
ホ. 電源電圧が高い	定格電圧にする
ヘ. 過負荷	プロペラが軽く回るようにする

6. 運転

以上が確認できたら、手元スイッチをONにして運転して下さい。運転中は、運転音や風の強さに注意して下さい。運転音が小さくなったり風が弱くなったりなど、異常を感じたらすぐに手元スイッチをOFFにして、運転を停止して下さい。

原因を調べ、異常を取り除いてから運転を再開して下さい。

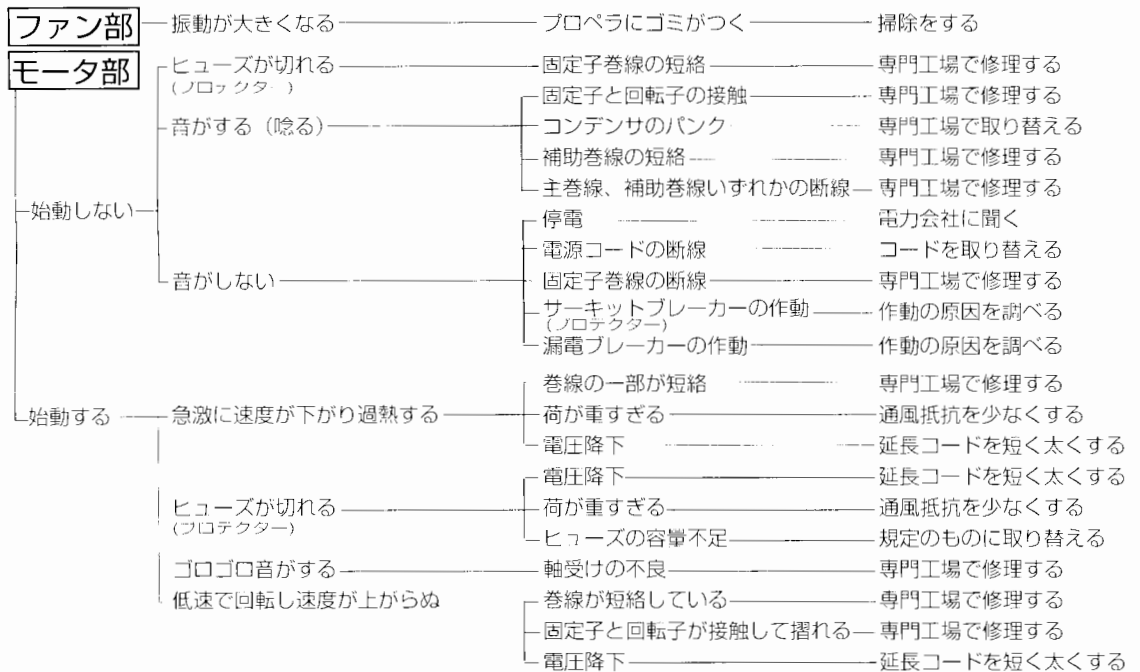
※ 運転中にプロテクターが働いて停止した時は、必ず手元スイッチをOFFにし、電源コンセントからプラグを抜いて下さい。もし、手元スイッチをOFFにしなかったり、電源コンセントからプラグを抜かないで点検作業をしていると、急に自動復帰し大変危険です。

IV 点検・保守

- 購入後3ヶ月以内に各ボルト・ナットの増し締めを行い、1年に1度は確実に締結されているか点検して下さい。
- ガードネット、プロペラ、風胴の内側、モータの胴体に粉塵や塗装ミストなどが付着した場合は必ず清掃して下さい。ガードネット、プロペラ、風胴の内側の汚れは、性能低下になるだけでなく過負荷になり、またモータの胴体の汚れは、放熱不足になり、それぞれモータ焼損と焼損時の熱による火災の可能性があります。
- メッキ部分や塗装部分から錆が発生したら、ただちに防錆処理をして下さい。
- 少なくとも、1年に1度は500Vメガーにより絶縁試験を行って下さい。1MΩ以上あれば良好です。
- コードやプラグなどの電気回りは、使用後に破損や断線がないか必ず点検して下さい。
- モータのベアリングは無給油タイプです。ベアリングの寿命まで手入れは不要です。PF-201Y、PF-201-2Y、PF-281Y、PF-281-2Y、PF-401Y、PF-501Yは、進相用の電解コンデンサーを使用しています。電解コンデンサーは構造上一般に3年の寿命と言われています。定期的な交換をお勧めします。
- 長期間保管する時は、湿気のない乾燥した場所に、ほこりやごみが付着しない様にカバーをして保管して下さい。また、軸受のグリースを回すために、3ヶ月に1度、5分間程度の運転を実施して下さい。

V ポータブルファンの診断と早期手当法

1. PF-201Y・PF-201-2Y・PF-281Y・PF-281-2Y・PF-201Y-S PF-281Y-S・PF-401Y・PF-501Y



2. PF-283Y・PF-403・PF-403-4・PF-503・PF-503-4・PF-603・PF-603-4

